

2013年6月中部品質工学研究会 議事録

- ◆ 日時:2013年6月8日(土) 10:00~15:00
- ◆ 場所:ITEQ 事務所
- ◆ 参加者(敬称略):井上、伊藤、大見、池田、川畑、杉浦、山口(記)
(今回より東亜合成の杉浦氏が本研究会に参加)

◆ 内容

(1)イノベーションを生む新商品開発について

これまで、牛井を題材にY家の立場で商品戦略を検討し、新規の実行施策案を作成してきたが、今後は、製造業の分野で、今回実施した新商品開発のプロセスを適用し商品戦略から実行施策案の作成を検討していく。

(2)基本機能の検討

基本機能を考える訓練として、メンバーに身近な製品で基本機能を検討していく。

今回は、トイレの便器を対象とし、基本機能は『投入水量とサイホン開始の水位の関係』と考えた。

(3)T(1)法 特徴項目の寄与の大きさの抽出方法(*)について、実データを基に解析プロセスを確認。

以下、議論まとめ。

- ・既成ツールでは解析プロセスが不明確な場合もあり、注意が必要。
- ・T(1)の計算途中で、SN比が0(計算上はマイナス)となる特徴項目は直交表の割り付け対象としない。
- ・解析には **Paley 型直交表(L12など)**を用いた方が良い。

*:抽出方法の概要

- ①特徴項目を直交表に割り付け、水準1:採用、水準2:非採用とする
- ②直交表をもとにT1法の解析を実施
- ③元データ、各解析結果の推定値から総合SN比を計算
- ④直交表の全解析終了後、直交表を計算し、寄与の大きい特徴項目を見つける

◆次回研究会までの宿題

- (1)5/11(土)に配布された資料(技術システム進化の法則)を読み、感想や質問を考えておく。
- (2)研究会で議論・検討するための題材を提供すること。(目標:一人1件以上)
できれば“MTシステム検討シート”や“基本機能シート”を記入しておく。

◆その他

- ・合宿検討会は10月5日(土)、6日(日)に仮決定。

以上